

6 告白 △

se

- ・全体的に優しく、ゆっくり読む

『先輩、

そろそろ戸締りしないと』

『みんな帰りましたし、

先生に怒られますよ』

『先輩！

はあ、先しゃまます』

SE

『ああーもう先輩！ぼーっとしますがです

いつまで昨日のこと引きずってるんですか！』

『いいに来てからずっと暗くてイライラするんですよ』

『何ですかその顔、私が悪いって言いたいんですか？』

『だつてあれは…あれは
ちがつ、そうじやなくて』

『はあ～…

先輩、すこし雑談しませんか？』

『あ…いいですよ返事は
私が一方的に話すので』

SE

『先輩、今日はずっと上の空だったそうですね』

『なんでって、先生やクラスメイトの人から聞かれたんです
あいつと何かあったのかって』

『いいですね、心配してくれる友人がいるなんて
私はもっと酷い学園生活を送ってるものだとばかり…』

『すみません、続けます』

『で、その時は笑って好きなアイドルの熱愛報道とか見たんじやないですか?
なんて・・・』

以下少し鼻声

『原因は、私なのに』

『違う?違わないですよ!!
わたしは、ただ。』

se

『大丈夫?

大声が聞こえてきたものだから喧嘩でもしてたのかと』(先生)

『先生、喧嘩だなんてそんな

この人がずっとこの調子だから説教してただけです』

『あー、それじゃお説教がすんだら片付けと戸締り、お願ひね』

『はい、鍵はいつもの場所でいいんですよね?』

『ええ』

『わかりました

先生、お疲れ様です。』

『はい、お疲れ様です』

『頑張つてね』（小声）

se

『…ふう』

『残りの仕事、先済ませちゃいましょうか』

『何か作業している方が考えがまとまりますし』

SE

『ふう…

終わつたーー!』

『さて先輩、お話の続き、しましょうか』

『や、そこに座つてください
座つて』

『こほん!

わかつているんですね

先輩が落ち込んでいる原因』

『昨日の私の返事、ですよね?』

『まずは謝らせてください』

『ごめんなさい、勘違いさせてしまつて』

『その、実は…ですね

昨日は先輩からの告白を断つたわけじゃありません』

『えっと、その…

『わたつ、私からこい、告白をしたいなあなんて
思つてたから、と言いますかなんというか』

『あーつもう！

一回しか言わないのでよーく聞いてくださいね！』

『すーはー(深呼吸)』

『好き(小さく)

好きです！大好きです！

私は…

先輩(おにい)のことが大好き!!

昨日はめちゃくちゃ嬉しかったし、あんなこと言つて後悔もしました』

『だから今日、こうして、私から言おうと思つたんです』

(深呼吸)

『だから、その

あのつ…えつと、』

(弱々しく・泣きそうになりながら)

(涙ぐんで、鼻声のような)

『あれ？

ごめんなさい、なんで

なんで泣いてるんですかね』

『ほんとこんな時まで、情けないですよ』

(鼻をすすりながらまた深呼吸)

『大丈夫です、最後まで言います』

『先輩、私と付き合ってください』